

## ⑦ 加藤謙一記念碑



故加藤謙一氏は、青森県立弘前中学校（現県立弘前高等学校）を経て、大正 5 年（1916）青森県師範学校（現弘前大学教育学部）に入学。大正 6 年（1917）同校を卒業し、市内の富田尋常小学校（現弘前市立大成小学校）に奉職。その後、職を辞して上京。大正 10 年（1921）に講談社に入社しました。戦前から戦後にかけて「少年倶楽部」「野球少年」「漫画少年」など少年雑誌の編集に一生を捧げ、手塚治虫、寺田ヒロオ、藤子不二夫、石ノ森章太郎、松本零士など戦後を代表する名だたる漫画家を育て、今日の漫画文化の礎を築き、名編集長と謳われた人物です。

平成 22 年（2010）9 月 7 日、加藤氏の業績をたたえ、本学附属図書館 2 階に「加藤謙一文庫」の開設並びに附属図書館玄関右手に「加藤謙一記念碑」が建立されました。「加藤謙一文庫」には、加藤氏のご子息、加藤丈夫氏からご寄贈いただいた多数の蔵書、附属図書館で収集した「少年倶楽部」「野球少年」「漫画少年」の原本又は復刻版、及び加藤氏が育てた著名な漫画家の関連資料などが並べられています。

記念碑には、加藤氏が編集者を志す原点となった富田尋常小学校の学級誌「なかよし」の文字と、「子どもは国の宝だ。子どもたちを明るく健やかに育てる仕事に身を捧げたい」という終生揺らぐことがなかった加藤氏の信念が碑文として刻まれています。

〔引用文献〕

1. 酒井量基（2010）．弘前大学附属図書館報「豊泉」 Library News, 32, 8-10.
2. 弘前大学総務部総務課（編）．弘前大学学報（2010）, 78, 5.